

一般社団法人 日本カーシェアリング協会「災害時返却カーリース自治体プラン」とは？

平常時は自治体が安価な公用車として使い、災害時にはその車を返却して、被災した自治体の支援車両として活用する仕組みです。



ポイント

自治体が平常時から車両を保有・活用しながら、災害時には全国の車両を被災地へ融通する仕組みです。
車両を「備蓄」するのではなく、「平常利用＋災害時支援」で循環させます。

一般社団法人 日本カーシェアリング協会 「災害時返却カーリース自治体プラン」とは？

平常時の利用条件

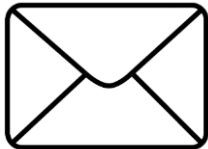


- 月額11,000円(税込)から(軽自動車の場合)
- 12か月更新(災害がなければ更新可能)
- 自治体の公用車として利用

災害時の対応の流れ



被災地の車両不足を調査



返却要請(原則10日以内)



返却された車両を被災自治体へ貸出



災害対応に活用(住民対応・避難所移動・災害状況確認など)

災害時の対応の流れ

災害		提供元(車両の返却元)	活用元・用途
2026年	熊本地震	佐賀県みやき町など	熊本県宇城市の公用車として、住民対応、避難所への移動、被害状況確認など
2026年	千葉豪雨	全国のリース利用者	自治体の支援活動に活用
2026年	石川・富山豪雨	全国のリース車両	被災者支援、災害対応など
2026年	福井豪雨	全国のリース車両	被災地支援

浜松市にとってのメリット

- ✓ 南海トラフ地震など大規模災害時の公用車不足に対応できる。
- ✓ 平時は通常の公用車として適用でき、財政負担を抑えられる。
- ✓ 全国の自治体との連携により、陣的な支援が可能になる。
- ✓ 防災・減債の取組みとして、「モビリティ・レジリエンス」の推進につながる